

遠望近思

令和3年3月5日発行（第68号）

本市教育行政が新たなステージへ ～第2期東松山市教育振興基本計画（令和3～7年度）スタートへ～

東松山市教育委員会教育長 中村 幸一

本市教職員の皆様には、コロナ禍の中児童生徒のために、日々教育活動に熱意・誠意・創意をもって御尽力をいただき、教育成果を上げてくださっていることに、敬意と感謝の意を表します。

このたび、教育委員会では、市長策定の「第2期東松山市教育大綱（令和3～7年度）」に基づき、「第2期東松山市教育振興基本計画（令和3～7年度）」を策定しました。今後新たなステージで、本市教育行政を進めていくこととなります。今回はその概要をお示しします。

I 基本理念（継続）

人と地域がつながり 豊かな自然がはぐくむ“学びのまち”東松山

II 基本方針（改訂）

- 1 確かな学力の確立、豊かな心と健やかな体の育成を推進します。
- 2 安心して充実した学習環境づくりを推進します。
- 3 生涯にわたる学びを支援し、スポーツの振興と、ウォーキングを推進します。
- 4 文化・芸術の振興とともに、伝統文化の継承など文化財の保存・活用を推進します。

III 基本目標（一部改訂）・施策

1 学校教育の充実

- (1) 確かな学力の確立 (2) 社会性・国際性が身に付く教育の実践
- (3) 豊かな心と健やかな体の育成 (4) 人権を尊重した教育・幼児教育・特別支援教育の推進
- (5) 教員の資質・能力の向上 (6) 相談体制の充実
- (7) 小・中学校9年間を一貫した教育の推進

2 教育環境の整備・充実

- (1) 安心して快適な学習環境づくり (2) 学校給食の充実

3 家庭・地域の教育力の向上

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進 (2) 家庭教育支援体制の充実
- (3) 地域の教育力の向上

以下、生涯学習、スポーツ、文化・芸術、文化財保護の分野については紙面の都合で、省略します。詳細は、「計画」の冊子で御確認ください。

新たな計画ですが、教育委員会は、これまで同様、現場主義に徹し、「継承と改革」、「現状維持は後退である」ことを常に意識し、教育政策を立案し、実施してまいります。教育行政のさらなる進展を、教職員の皆様とともに実現させてまいりたいと考えていますので、今後とも御協力をお願いいたします。



次ページからは令和元年度の東松山市学校教育研究推進委員で作成した「学力向上に向けた取組」、「不登校者数減少に向けた取組」の実践事例等を掲載しています。

令和元年度発行の第67回遠望近思の内容も参考にいただければ幸いです。

◆学力向上グループの取組 P 2～5

◆不登校・いじめ・自殺防止グループの取組 P 6～9

東松山市授業チェックアンケート

～教職員の授業力向上のために～

主体的・対話的で深い学びを目指して！授業チェックシート

記入日	月 日 () 校時
記入者	

授業者・参観者

	番号	観点	内容	☑
共通の項目	1	導入・ねらい	興味・関心を高めるための工夫をするともに児童生徒に学習のねらいや見通しをもたせている。	
	2	学習規律	基本的な学習規律を定着させている。	
	3	発問・指示・説明	思考を揺さぶる意図的な発問及び、わかりやすい指示・説明を行っている。	
	4	教材・教具	教材・教具を効果的に活用している。	
	5	学習形態	必要に応じて、一斉・グループ・個人などの学習形態を工夫している。	
	6	板書	児童生徒の理解を促すための構造的な板書がなされている。	
	7	評価	本時のねらいに対して適切な評価方法・評価場面が設定されている。	
	8	個に応じた指導	児童生徒一人一人に対応し、個に応じた手立てを講じている。	
	9	まとめ	課題に正対したまとめ、児童生徒の言葉によるまとめ、次時につながるまとめなど、振り返りを意識している。	
	10	振り返り	わかったこと、考えたこと、学び方、思考の変容など児童生徒自身が自分の言葉で書いている。	
学校の項目	11			
	12			

【メモ】



1 活用場面について

- ①初任者研修や年次研修の授業研究会
- ②学校課題研究の授業研究会
- ③その他お互いの授業を参観するとき
- ④自分の授業を振り返るとき

2 活用方法について

①説明・配付 → ②チェック → ③活用

- ①事前に活用のしかたについて説明し、共通理解をしておく。
- ②授業中または授業後にチェックをする。研究協議までに記入を済ませておく。
- ③研究協議でチェックシートを持ち寄り、授業を見直すきっかけとする。

3 活用のポイント

- ①研究協議が始まる前までにチェックをしておく。協議の後では話し合いが深まらない。
- ②メモ欄には、チェックの根拠となる内容や授業改善につながる具体的なアドバイスを記入しておく。

初任者研修で活用した感想

- ・授業の基本とも言える項目が設定されているので、評価しやすい。
- ・項目に従って指導ができた。授業改善について話し合う際のきっかけとなる。
- ・授業者と参観者のものを比較したとき、同じ項目にチェックが入る場合と、違う項目にチェックが入る場合があった。同じ項目にチェックが入る場合には、そのことに関して自信をもってよいが、違う項目にチェックが入っている場合には、自分ではできていたと思っても、他から見るとできていないという状況が生じることになる。それが授業者の課題となることが分かった。
- ・初任者にとっては、授業を見る視点が明確になってよい。
- ・授業者が自分の授業を振り返る場合にも活用できる。

チェックシートのダウンロード

東松山市のホームページからダウンロードすることができます。

⇒ www.city.higashimatsuyama.lg.jp/soshiki/kyoikubu/gakkokyoiku/kankobutsu/1610678852954.html

3月1日以降アクセス可



けテぶれ学習

～児童生徒の学力を向上するために～

「けテぶれ学習」とは？

「**け**…計画 **テ**…テスト **ぶ**…分析 **れ**…練習」をくり返す学習方法です。
 新型コロナウイルス感染拡大状況が予断を許さない中、突然明日休校になって
 も困らない学び方を指導していく必要があります。
 家庭学習をするときに、「どうやって勉強したら良いのかわからない」、このよ
 うな生徒を出さないためにも一人で学べる学び方の指導が大切になってきます。
 以下、「けテぶれシート」の実践例を載せますので参考にしてください。

け 計画

本日行う内容や自分
 がこの時間で身に付け
 たいことを書く。
 使った教科書のペー
 ジ数やワークのペー
 ジ数を書くと後でやり直
 す際に便利になる。

テ テスト

力試しで問題に取り
 組んでみる。○の問題
 よりも×の問題を見つ
 けることが大切であり、
 ×の問題こそ克服すべ
 き課題である。

けテぶれシート

The image shows a handwritten 'Ke Te Bu Re' learning sheet. It is divided into four main sections:

- け (Plan):** Lists '今日やる内容 & 身につけたい項目' (Today's content & items to master). It includes a list of math problems and a diagram of a triangle with angles 45, 60, and 150.
- テ (Test):** Shows 'まずは力試し やってみよう ×の問題こそ宝物' (First, try it out. × problems are treasure). It contains several math problems, some marked with a checkmark (○) and some with an X (×). One problem involves calculating the area of a triangle with sides 120 and 140, and an angle of 150 degrees.
- ぶ (Analysis):** Divided into '良かったところ (とその理由)' (Good points and reasons) and 'うまくいかなかったところ (とその理由)' (Points that didn't go well and reasons). It includes reflections on why certain problems were solved or not.
- れ (Practice):** Titled 'これからどうするか & 弱点克服のための練習' (What to do next & practice for overcoming weaknesses). It shows a detailed calculation for finding the length of a side 'a' in a triangle, using the law of cosines.

ぶ 分析

○の問題は良かったところを、×の問題でも途中までできたところなどを書く。×の問題ではうまくいかなかったところとその理由を書き、問題を分析する。

れ 練習

これからどのように練習していけば、この問題ができるようになるかを自分の言葉でまとめる。類似問題などを自分で作り、弱点が克服できるように練習を行う。

けテぶれシートのダウンロード

東松山市のホームページからダウンロードすることができます。
 ⇒ www.city.higashimatsuyama.lg.jp/soshiki/kyoikubu/gakkokyoiku/kankobutsu/1610678852954.html
 3月1日以降アクセス可



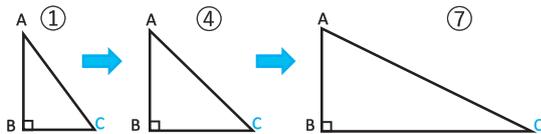
ICTを活用した学習の取組① ～基本的な実践事例～

小学校の例

(1) 問題場面を動的に捉えさせる活動

例：「第5学年 算数 三角形の内角の和 第1時」

【問題】点Cが右に移動していくと、角A,B,Cは、それぞれどのようにかわっていくでしょう。



プレゼンテーションソフトを使い、角の大きさが変化していく連続性を動的に提示する。

【問題】三角形の内角の和が 180° になる考え方。



三つの角が合わさると 180° となる考え方を動的に提示する。

(2) 児童の考えや作品を提示し、クラス全体で共有する活動

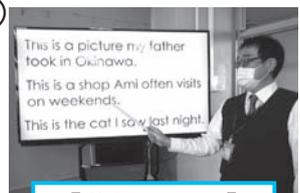
例：「第1学年 算数 パターンブロックを使って」

児童が作った形をモニターに提示し、形のきれいさや規則性に気付かせる。本時では、パターンブロックでつくった形が線対称や点対称の形になっていることに気付かせる活動を行った。



中学校の例

- (1) 国語 ①授業サイトを活用した授業実践（プレゼンテーションソフト等）
＜活用例＞ 視覚的に支援をしながら、リズムやテンポ良く授業を展開
- (2) 社会 ①長期作業中の宿題や短時間でのコンピュータ使用による資料作成で実施
- (3) 数学 ①章の導入にて興味付け（プロジェクターによる投影）
②デジタル教科書の活用（主に空間図形・空間把握）
③素因数分解アプリの活用
- (4) 理科 ①スライドでの授業 ②動画や画像の有効活用
③視覚的な支援 ④授業準備の効率アップ
- (5) 英語 ①動画教材を作成し、授業にて活用
（新出単語の発音、本文の読み 等）
②動画作成：長期休業中や家庭学習の教材として活用
（読み物教材、基本文の定着を図る教材 等）
③プレゼンテーションソフトによる文法事項の説明
- (6) 音楽 ①タブレットを使用した授業実践
②デジタル教科書 ③創作アプリ
- (7) 美術 ①題材導入時に、発想のヒントとなる歌、ミュージックビデオの動画の視聴
②参考作品の写真のスライドショーで提示（TV画面）
- (8) 保健体育 ①運動技能の構造やイメージづくりのための模範動画の視聴
②自分の課題確認のための、生徒自身が運動している動画の撮影・視聴
- (9) 技術・家庭科 ①テレビモニターを用いた優秀作品の提示
②テレビモニターを用いた作業状況（木工、裁縫、調理等）の提示



【英語科授業】



ICTを活用した学習の取組②

～先進的な実践事例～

学習共有ソフトの活用

タブレット内のアプリケーションを活用して学習を共有したり、児童の学習状況を把握したりできる。意見や考え、写真などを共通の「ひろば」にアップロードし、互いに学習を深め合うことができる。

考えを撮影して、共有フォルダに提出



友達の考えを読み、コメントを追加



アンケートに回答



同時にグラフ化



【活用例】算数、数学での交流場面で自分の考えを書いたノートを撮影し共有。生活科・図工・理科・技術などで、作品や風景を撮影し観賞。道徳、学活の導入でのアンケート。

タイムシフト再生（追っかけ再生）の活用

撮影した動画の映像を設定した時間（1秒～120秒）遅れて再生することができる。

ハードル走の練習を撮影



指定された時間後に撮影した動画が流れるので、走った後に自分で確認。



【活用例】 体育 表現運動、器械運動、陸上運動等でのフォームの確認
理科 自然事象に関する実験の確認

タイムシフト再生（追っかけ再生）の活用

遠隔地でもリアルタイムで学習に活用できる上、校外との交流の幅が広がる。

他校の友達に、リモートで質問



オンラインの交流後、実際の再会に感激



東松山市学校生活アンケート ～児童生徒の悩みを早期に発見するために～

活用した先生方の声

小学校中・高学年用

自分を見つめて・・・。

年 組 番 氏 名

☆まずは、ここ最近の自分のイライラ・もやもやをチェックしてみよう。

(0 ぜんぜんちがう 1 すこしそつだ 2 まあそつだ 3 そのとおりだ)

◇勉強が手につかない(集中できない)	0	1	2	3
○悲しい(不安な事がある)	0	1	2	3
□怒りっぽい(イライラする)	0	1	2	3
☆お腹が痛い(頭痛がする)	0	1	2	3
あなたのイライラ・もやもやは・・・	合計			
0～4点 ⇒小 5～8点 ⇒中 9～12点 ⇒大				

☆イライラ・もやもやしていることはどんなことですか。当てはまるものすべてに○をつけましょう。

勉強 先生 将来 クラス 友だち 家族 自分自身 その他 ()

☆何かを相談したい気持ちはありますか。そして、誰かに相談したいですか。(複数○をつけるのも可です。)

今すぐ相談したい ・ しばらく様子を見て ・ 相談の必要はない

{ 担任の先生 学年の先生 保健室の先生 相談員の先生
スクールカウンセラーの先生 家族 友だち その他 () }

☆いやなことについて聞きます。学校生活でいやなことはありませんか?もしあったら○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| ① からかわれる。 | ⑥ わざと机を離される。 |
| ② 仲間外れにされた・無視される。 | ⑦ いやなことやはずかしいこと、危険なことをやらされる。 |
| ③ ぶたれる、けられる。 | ⑧ 悪口や嫌なことをメールやSNSで書きこまれる。 |
| ④ お金などを無理やり取られる。 | |
| ⑤ 持ち物をかくされたり、こわされたりする。 | |
| その他 () | |

☆先生に一言(ここまでのアンケートを振り返り、先生に伝えたいことがあったら書いてください。うれしかったこと、よかったことなど何でも構いません。)

最初の質問であるイライラ・もやもやチェックが大(9～12点)の記述がある場合は、を付け、すぐにチェックができるので便利だった。

「今すぐ相談したい」という児童生徒に対して個別面談を速やかに行うことができた。

相談したい相手が示されることで、スムーズに相談につなげることができた。

データをスキャンして保存することで、いじめ等の問題発生後、すぐに過去の状況の確認が可能になった。

管理職にもアンケートを見てもらう事で、共通理解を図ることができた。

見えてきた課題

感染症対策の関係で教育相談主任会が実施できず、市内で共通理解が図れていなかったため、学校ごとに活用の状況がまちまちであった。

アンケートによって課題が確認され、面談等は実施したが、その後の対応が組織的に行えないケースが見られた。

学年ごとに異なる保存方法を取っている場合があり、実施後のデータ保存の方法が統一されていなかった。

アンケートをデータで保存する場合、必要な児童生徒の情報を検索することに時間がかかってしまった。

今後の活用に向けて

年度当初に、教育相談の主任会にて教育相談主任がアンケートの活用方法を共有し、各学校にて共通の方法で実施できるようにする。

ICTを活用すると組織的な対応や業務負担軽減になる。例えばアンケートをパソコンから入力して答えることで、誰でも情報を確認できるし、集計・保管がしやすい形で運用できる。

データの保存に関しては教育相談主任が一括して行うなど統一する必要がある。また、保存する際に、アンケートの前に名簿を付けるなどして、検索しやすくできる。また、「データ+名簿に○点と記入する」など保存方法を統一する。

東松山市生徒指導カルテ ～児童生徒情報の円滑な共有のために～

活用した先生方の声

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
クラス担任								
欠席日数	/	/	/	/	/	/	/	/

各学年の欠席日数が記入されるため、過去の登校渋りなど学校を休みがちな児童生徒を把握することができた。

東松山市「生徒指導カルテ」

東松山市教育委員会

取扱注意

氏名	(本人)	小学校名	
	(保護者)	中学校名	
住所	東松山市	【家族構成】	(<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input checked="" type="checkbox"/> 本人は、二重線で表
連絡先			

家族構成を把握することで、相談する先などを確認しやすかった。

形式が決まっているために、記入する内容が分かりやすかった。また、後日確認する際には指導の経過が一目で分かるので児童生徒への声掛けがしやすかった。

時系列でわかるので、学年を引き継いだ時にも役立った。

【成育歴】

【指導記録】

見えてきた課題

生徒指導カルテを作成するのに、時系列に内容を記入するため、時間がかかってしまう。

活用の仕方が曖昧であり、先生によってすぐに活用する場合とそうでない場合の差がある。

指導内容をどこまで記録するのか、担任によってばらつきがある。

情報の管理とセキュリティーについて共通理解が必要である。

今後の活用に向けて

生徒指導の情報収集から個人カルテにリンクさせることで、個人カルテの作成に時間の節約ができる。

今後どのように活用をするかは、令和元年度の遠望近思を周知するなどして、学校で統一していく必要がある。

小学校で現在活用している資料を、小学校卒業後3年間は中学校に提供できる体制を整備していく。

知りたい情報がすぐにわかるように、記録項目の細分化が必要がある。

SOSの出し方に関する教育①

～児童生徒が自ら助けを求める力を育てるために～

従来の教育相談的アプローチ

- ・ 児童生徒の悩みを早期に発見するための学校生活アンケート
 - ・ 休み始めた児童生徒に対しての初期対応指針
 - ・ 児童生徒の情報を職員間、学校間で円滑に共有するための生徒指導カルテ
- ⇒ 教師から児童生徒に対しての支援が基本にあった。
⇒ しかし、児童生徒の悩みは教師の気づきだけでは支えきれない面もある。

今後新たに取り組みたいこと

【SOSを発する力】

児童生徒自身に現在起きている、もしくは起こりうる危機的状況に対応するために適切な**援助希求行動（周囲にサポートを積極的に求めること）**ができるようになる。

【SOSを受け取る力】

心の危機に陥った友達へのかかわり方、受け止め方、理解する姿勢を学び、適切な対応ができるようになる。

⇒ 従来の教師からのアプローチに加えて、児童生徒自身の「SOSを発する力」、
「SOSを受け取る力」を育成する。

自殺対策基本法

平成18年6月21日閣議決定

心の健康の保持に係る教育及び啓発の推進等

第17条3

学校は、当該学校に在籍する児童、(中略)生徒等に対し、(中略) **困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける等のための教育又は啓発** (中略) を行うよう努めるものとする。

自殺総合対策大綱

平成29年7月25日閣議決定

1.1. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

- ・ いじめを苦しめた子どもの自殺予防
- ・ 学生・生徒等への支援充実
- ・ **SOSの出し方に関する教育の推進**
- ・ 子どもへの支援の充実
- ・ 若者への支援の充実
- ・ 若者の特性に応じた支援の充実
- ・ 知人等への支援

国や県は現在、増加している自殺未遂、自傷行為などの未然防止のため、児童生徒自身が困難に対処する力を身に付けるための教育を推進しています。

SOSの出し方に関する教育②

～東京都教育委員会の取組事例～



ワークシート

年 組 番・氏名【 】

自分を大切にしよう
～ストレスへの対処～

ストレスから、つらい気持ちになった時、それを軽くするために何かをすることができ、ストレスへの対処といえます。

学習の流れ
ストレスについて知る。[DVD前半]
ストレスの対処方法をワークシートに書き、グループで伝え合う。[DVD後半]
大きなストレスの対処方法を考える。[DVD後半]
先生の話を聞き、自分の書く。

1. 自分がつらい気持ちになった時、それを軽くするために、どのようなことをしていますか。
自分が行っている対処方法 いいね！(友達が行っている対処方法)

2. 友達がつらそうにしている時、それを軽くしてあげるために、どのようなことをしていますか。
自分が行っている対処方法 いいね！(友達が行っている対処方法)

まとめ
学習の感想を書きましょう。

DVDの内容については動画視聴サイトでも視聴が可能である。

自分がつらい時、友達から相談された時の対処方法について考える。

周りの意見を聞き、自分では思いつかなかった対処法を学ぶ。

授業展開例

ア 題材 「自分を大切にしよう ～ストレスへの対処～」
イ ねらい
自分がかげがえのない大切な存在であることに気付くとともに、ストレスへの様々な対処方法を理解し、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するための援助希求行動について考えることができる。

ウ 本時の流れ

・導入(4分) ・DVD前半(6分) 10分	・ワークシートに書く(5分) ・グループで伝え合う(15分) 20分	・DVD後半(10分) 10分	・教師の話(5分) ・ワークシートに書く(5分) 10分
-------------------------------------	---	---------------------------	---

エ 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点等
導入(4)	1 本時の題材を知る。 「自分を大切にしよう ～ストレスへの対処～」	<input type="checkbox"/> 教師は、本時の題材を板書し、本時の流れを説明する。 <input type="checkbox"/> 自殺に関する用語は使用しません。
展開(16)	2 DVD(前半)を視聴する。 (1)一人一人が大切な存在であることに気付く。 (2)ストレスの概要について知る。	<input type="checkbox"/> 大型テレビやプロジェクター等を活用して、DVD(前半)を上映する。
	3 つらい気持ちになった時に、どのような対処をしているか伝え合う。	<input type="checkbox"/> DVDを観ながら、自分の過去のつらい出来事などを思い出す生徒もいます。授業は、タイムリーにやることが望ましく、複数の教職員等、生徒の様子を観察します。
	発問1 自分がつらい気持ちになった時、それを軽くするために、どのようなことをしていますか。 発問2 友達がつらそうにしている時、それを軽くしてあげるために、どのようなことをしていますか。	
展開(16)	4 DVD(後半)を視聴する。 (1)危機的状況(大きなストレス)に対応するための援助希求行動の在り方を考える。	<input type="checkbox"/> ワークシートを配布する。 <input type="checkbox"/> 教師が発問と活動の指示をする。 <input type="checkbox"/> 自分以外にも、つらい気持ちになっている友達がいることに気付くことが大切です。学習全体に発表して、対処方法をまとめるなどの必要はありません。
まとめ(10)	5 教師やスクールカウンセラー、保健師等の話を聞く。	<input type="checkbox"/> DVD(後半)を上映する。
	6 本時を振り返り、学習の感想をワークシートに書く。	資料集(CD)に「相談する時、受け止める時等の言葉例」がありますので参考にしてください。「頑張れ」ではなく、「力になりたい」等の言葉をするとよいです。 <input type="checkbox"/> 相談機関の連絡先が分かる資料を配布する。 <input type="checkbox"/> 養護教諭やスクールカウンセラー等が相談機関の活用方法等について話をよむ。 <input type="checkbox"/> 保健師等が参加する場合は、自らが相談相手になり得ることを直接、伝えてもらう。 <input type="checkbox"/> 教師は、親身になって生徒の相談に応じるので、苦しい時は一人で悩まずに話してほしいなどのメッセージを伝える。

詳細については、Disc2資料編(CD)に、初等編、中等編、高等編それぞれの学習指導案、ワークシートを収録していますので、確認をしてください。

○どの授業で実施するか。
⇒学級活動や体育(保健体育)の授業にて実施が可能である。

○東京都の資料は活用できるか。
⇒東京都教育委員会のHPにてダウンロードできる。
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/sos_sing.html

○望ましい実施時期はいつ頃か。
⇒4月～7月までに実施できると、長期休業前にSOSの出し方について児童生徒が意識することができる。

○担任が実施するのか。
⇒担任に加えて、養護教諭やスクールカウンセラーなどがサポートするとより効果的である。



令和2年度東松山市学校教育研究推進委員

学力向上グループ			不登校・いじめ・自殺防止グループ		
	氏名	所属		氏名	所属
委員長	阿形 寿和	野本小・校長	副委員長	吉岡 武志	東中・校長
委員	田辺 拓也	松一小・教諭	委員	諏訪 幸市郎	松二小・主幹教諭
委員	長谷 隆志	大岡小・教諭	委員	小澤 善彦	新明小・主幹教諭
委員	荒川 宗近	高坂小・主幹教諭	委員	木村 由香利	唐子小・主幹教諭
委員	権田 尚岳	野本小・主幹教諭	委員	吉野 知子	市の川小・主幹教諭
委員	平野 富雄	青鳥小・教諭	委員	岩田 永遠	桜山小・教諭
委員	稲葉 昌弘	新宿小・主幹教諭	委員	渡邊 伸隆	松山中・教諭
委員	力久 晃一	東中・教諭	委員	柿沼 泰之	南中・教諭
委員	田口 光一	白山中・教諭	委員	山本 正枝	北中・教諭